

牧ノ戸からの くじゅう連山7座

2021年10月23日

なんと3年振りにくじゅうにやって来た。今回は一昨年北九州マラソンと一緒に走った同級生のM原君とM利君、三人での紅葉満喫登山のはずだった…。しかしながら紅葉には時期が早かったのか全くの期待外れ。お天気は時折強風が吹き難儀する時もあったが、終日快晴でバッチリ。久し振りの本格登山は、秋のくじゅうを満喫した一日となった。ただ、10時間の山歩きの中、同行の二人に大幅に遅れる場面もあり、体力の衰えを感じた登山でもあった。



白口岳山頂から坊ヶツルを覗き込む。正面は平治岳～北大船山～大船山の稜線。

<コース概要>

- 1、牧ノ戸登山口 5時59分
- 2、沓掛山
- 3、扇ヶ鼻分岐
- 4、扇ヶ鼻
- 5、扇ヶ鼻分岐
- 6、西千里ヶ浜
- 7、久住分れ
- 8、久住山
- 9、神明水分岐
- 10、稲星山
- 11、稲星越え分岐
- 12、白口岳
- 13、稲星越え分岐
- 14、中岳
- 15、天狗ヶ城
- 16、久住分れ
- 17、西千里ヶ浜
- 18、扇ヶ鼻分岐
- 19、沓掛山
- 20、牧ノ戸登山口 16時13分

全行程 10時間14分

本文中に記載している内容は、実際に歩いたコースと時間です。
休憩時間等、全て含んでいます

暗闇に馬が三頭 (@_@;)

九重ICを降り、四季彩ロードを走っている最中だった。まだ早朝5時過ぎの暗闇の中を車は牧ノ戸目指して快走していた。すると突然運転しているM原君が「何じゃこりゃー」と大声を上げて急ブレーキ。ヘッドライトに照らされたものは・・・道路の真ん中をこちらに向かって歩いて来る、白と茶色のまだら模様をした3頭の馬だった。よく見るとさほど大きくなく中型の馬だった。近くには牧場があるので、ここで飼育されているポニー？が逃げ出したのか？危うく接触するところだったが、馬は驚くこともなく平然と歩いている。一瞬、いったい何が起こったのか・・・？突然現れた馬に我々三人が呆然とする中、三頭の馬は車の横をすり抜けて行った。これまで早朝のうす暗い中、お目にかかったことのある動物は、シカ・イノシシ・イタチ・キツネ・タヌキ・キジ、野ウサギ等の経験はある。しかし、馬は初めてだった。完全に予想外の出来事で夢でも見たかのような瞬間だった。皆さんも夜中の四季彩ロードにはご用心！
※後から冷静になって考えると、その場で110番すべきだったと反省している。



牧ノ戸登山口到着 5時35分

北九州市を夜中の3時に出発。約2時間半かけて牧ノ戸駐車場に到着。途中、四季彩ロードでのサプライズを経験。その後長者原や大曲の満車状態やたくさんの路肩駐車を見て内心焦った。覚悟を決めて牧ノ戸駐車場に入ると、ほぼ満車に近かったが、運良くスペース発見！ラッキーだった。



- 1、牧ノ戸登山口 5時59分 まだ薄暗く霧が立ち込める中、ヘッドランプを頼りにスタート冷えるので上着を着込んだ。これから沓掛の肩まで辛抱のコンクリート道。牧ノ戸からの取り付きはいつもながらスタートから息が上がってしまう。



東屋を通過 6時09分 霧で幻想的



濃霧で道の先が見えない



沓掛の肩を通過 6時18分



久住山まで3.1kmとあるが・・・「？」だ！

3.1kmが「？」という根拠は・・・沓掛山山頂を越えた後の道標を実際にご覧ください！



2、沓掛山 6時27分 1503m 霧が晴れて由布岳方面が少し見えるようになってきた



いつもならここから見る沓掛尾根の紅葉は最高なのだが・・・今年はちょっと残念



崩落地跡を通過 6時52分



体力の衰えか？息が上がる



3、扇ヶ鼻分岐 7時15分 先ずは扇ヶ鼻へ



6月はミヤマキリシマが綺麗な斜面



扇ヶ鼻に向かってまっしぐら 7時27分 強風が吹き荒れる…辛い



赤川への分岐を通り過ぎ 7時32分



大きな岩の間を抜けると…7時33分



4、扇ヶ鼻山頂 7時34分 1698m



強風の中、苦勞しながらスマホで自撮り…よく撮れました！



扇ヶ鼻山頂より阿蘇五岳を望む 7時42分 阿蘇中岳は3日前(10月20日)に噴火(**); 噴煙は3500m迄立ち昇り、火砕流は1.6km発生したが、現在は落ち着いているようだ。



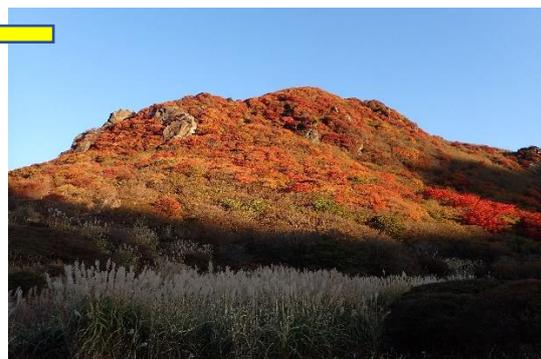
強風の扇ヶ鼻を早々に下山 7時43分



扇ヶ鼻のなだらかな斜面を下る 7時46分



星生山の左の肩の紅葉に期待したが・・・



3年前(2018年10月21日) 撮影

今年の紅葉は3年前の同時期と比べて色付きが遅いのか?今後の冷え込みに期待したい。

	<p>5、扇ヶ鼻分岐 8時00分 扇ヶ鼻分岐に戻ったら大勢の登山客が休憩 していてビックリ。若者が多くて賑やかだ。</p>  <p>久住山方面へ</p>
 <p>星生山への分岐(一つ目)を通過 8時02分</p>	 <p>星生山への分岐(二つ目)を通過 8時10分</p>



6、西千里ヶ浜 8時13分 正面から朝日を浴び、ススキの中を進む！いい気分！



星生崎を仰ぎ見ながらガレ場を越えると



久住避難小屋の広場に到着 8時30分



久住山避難小屋 8時31分

昨年11月にリニューアルされているが、相変わらずトイレの臭いは漂っている。



綺麗になった！



7、久住分れ 8時40分 強風だ！



ここから左へ下ると北千里ヶ浜



御池に寄って中岳へ進む予定だったが...



途中でルート変更して久住山へ 8時54分



黙々と久住山を上る 8時56分



久しぶりにひとみちゃんにご挨拶 9時10分



山頂までの不規則な岩場は苦手です！ 9時11分



8、久住山 9時16分 1786m



まだまだ元気な「じいじ」三人組です！



涅槃像と言われる阿蘇五岳 9時19分 白い噴煙が見える
久住山山頂は風もなく穏やかだった。景色も堪能して次はM利君が未踏の稲星山へ！



稲星山へ出発！ 9時47分 山頂を振り返ると登山客で賑わっている



歩き易い尾根を進んで行くと 9時52分



稲星山へのルートが見えてきた 9時59分



9、神明水分岐 10時08分
鞍部に下ると神明水分岐。ここからまた上り返しが始まる。左は池の小屋経由で中岳へ。



稲星山方面へ



上は見ない方がいいかも?(笑)



少し上って振り返る 10時13分

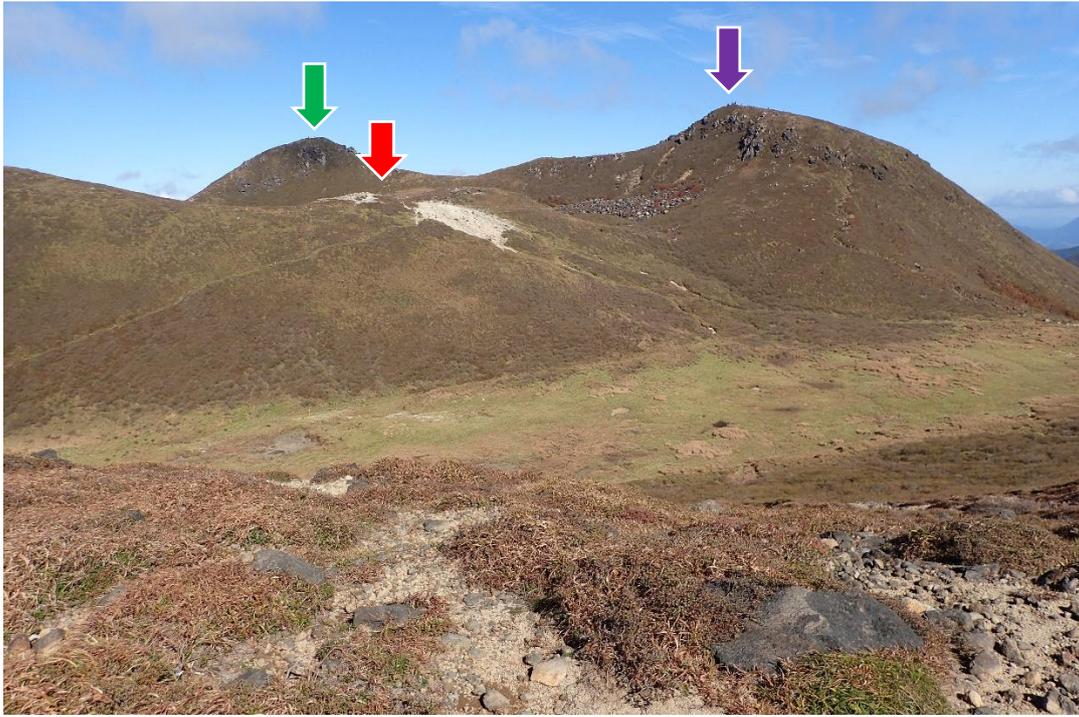


稲星山の山頂はまだ見えない(悲)



稲星山の肩に着くと遠くに山頂が見える

先行の二人に遅れないように必死に上って行く。



東千里ヶ浜を見下ろす 10時19分 遠く左は天狗ヶ城、右は中岳、そして池の小屋



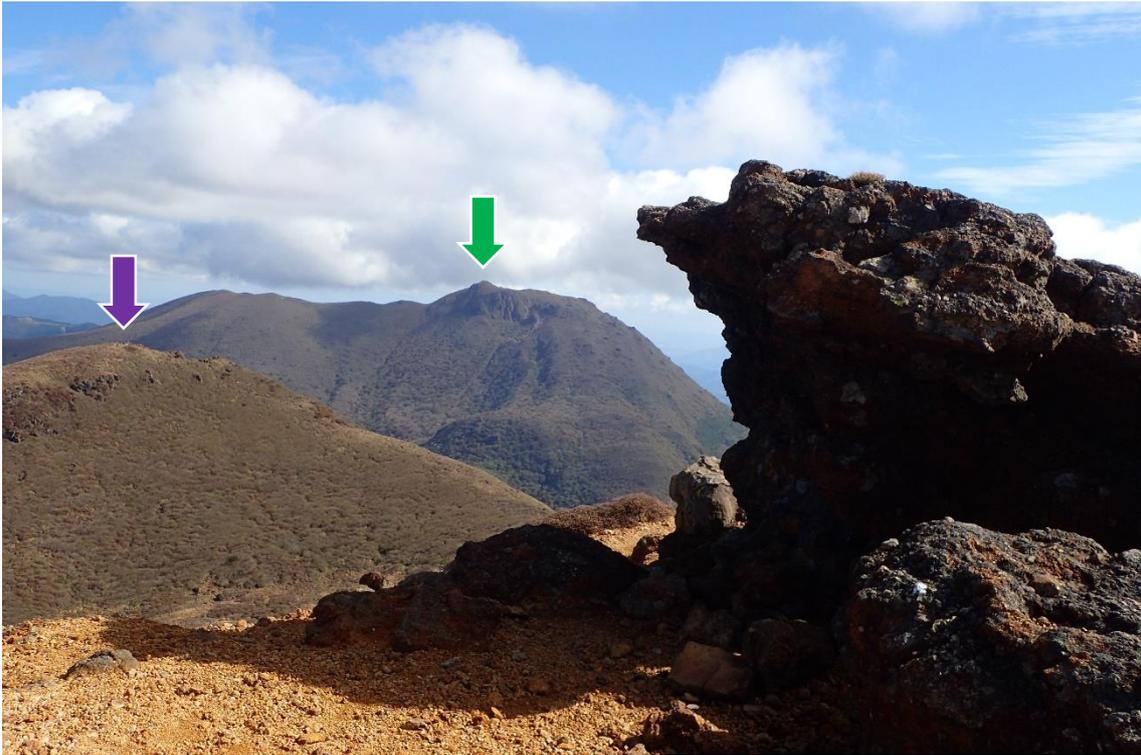
10、稲星山 10時27分 1774m
立ってられないほどの強風で落ち着いて
風景を見ることが出来なかった。



風化した観音像



4座目の稲星山で強風が吹き荒れる中、何とか記念撮影。



ガメラと呼ばれる岩 10時30分 大船山と白口岳がクッキリと見える

	<p>ランチタイム 10時31分</p> <p>中岳方面からの風が強いので、風裏になる反対方向に少し下って場所を探した。斜面の岩陰に陣取ってゆっくりと昼食休憩。</p> <p>とカップ麺</p>
	<p>昼食を終えて再スタート！ 11時35分</p> <p>一旦山頂に戻って次は白口岳へ向かう。</p> <p>依然強風</p>

稲星山でのんびりと約1時間の休憩となった。

三人で歩くと、必ず雨が降るといジンクスがあったが、今日は神様が微笑んでくれた！

昼食休憩で元気回復！頑張ろう！



稲星山から大船山方面に歩く 11時45分



目標の白口岳も姿を現した 11時49分



鳴子山を右に見ながら下る 11時57分



岩場を過ぎると藪漕ぎだ 11時59分



11、稲星越え分岐 12時00分

ここは五差路。下ってきた道は稲星山からだが、ここから直進すると白口岳へ。左は中岳へ。右は鳴子山に続く。もう一つ、鳴子山へのルートに入る前に沢水キャンプ場を下るルートがある。このルートは落石により危険で入山禁止になっている。

我々は直進して白口岳へ進む。



白口岳を目指して上って行く 12時04分



「リンドウ」がチラホラ顔を出す



ママコナ？発見！



コガネムシが登山道に数匹現れる



12、白口岳 12時22分 1720m



さっそく坊ヶツルを覗き込む。絶景だー。

坊ヶツルにはテントがたくさん設営されている。ほぼ無風の白口岳は最高でした！



白口岳山頂で単独行の女性に記念写真を撮ってもらった。

<後日談> 登山翌日、「昨日、白口岳で出会った女性のヤママップ投稿があるよ」と、M原君から連絡が入った。見てみると、我々とほぼ同じコースを歩いているにもかかわらず、歩行時間が我々の約半分だった！どうしてそんなに早いのか？休憩してないのかな～！



白口岳を下山 12時41分



往路を快調に分岐まで 12時47分



13、稲星越え分岐 12時55分 右の中岳へ



沢水へ下るルートは通行禁止



入山禁止の白いプレート



中岳方面へは一本道だが・・・ 12時58分



辛い藪漕ぎ！ 枝が容赦なく顔に当たる



前屈みの藪漕ぎは10分続いた 13時09分



中岳と稲星山の鞍部 13時11分 小休憩



左は稲星山への登路



さあここから直登して中岳を目指す！



坊ヶツル(法華院)に下るルートは通行禁止



徐々に高度を上げる 13時19分



九州本土最高峰まであと少し 13時22分



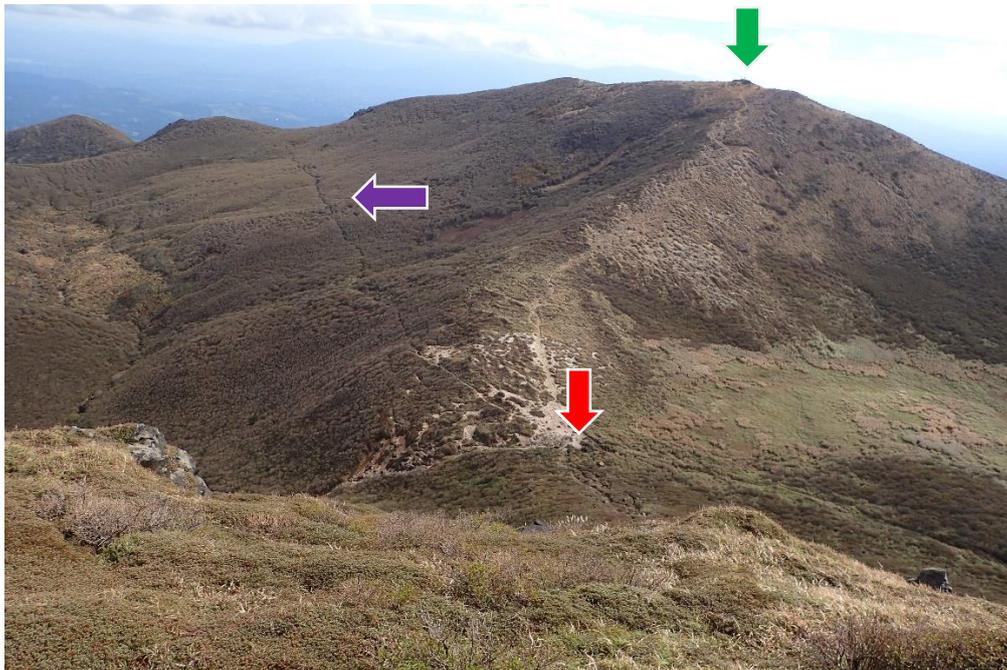
二人はグングン上って行く 13時24分



ロープ場をクリア 13時27分
劣化したロープは補修されていた



ロープ場を通過して振り返る 13時28分
東千里ヶ原が一望できる



見下ろせば稲星山と中岳に取り付いた鞍部。左側に伸びる道はヤブ漕ぎした登山道。



中岳山頂が見えてきた 13時32分



続いて御池(みいけ)も登場！ 13時33分

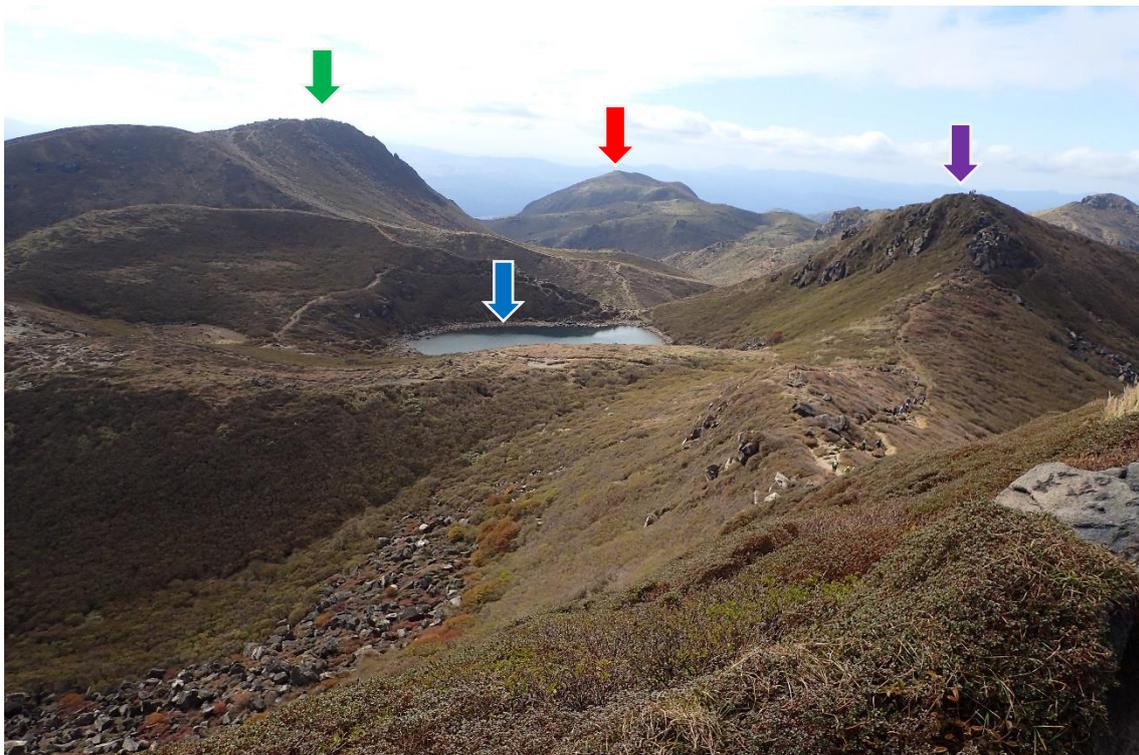


14、中岳 13時34分 1791m

さすがに九州本土最高峰だけあって、中岳はくじゅうの中でも人気の山。順番待ちをして山頂碑と共に記念撮影をした。ふと見ると小学1年生位の男の子が、おじいちゃん(我々と同年代)と二人で上ってきた。この光景を見て、自分も孫と歩きたいなあ〜と、とても羨ましかった。いつか必ず！



九州本土最高峰に登頂！



中岳山頂から御池を望む 13時40分 左から久住山、扇ヶ鼻、そして次に向かう天狗ヶ城景色を堪能していると、御池の湖畔から50人位の団体登山客が上ってきていた。きっとその団体さんは中岳へやって来るに違いない。狭い山頂で身動き出来なくなるので早々に退散。



坊ヶツルを覗き込むように中岳を下山 13時45分 三俣山や平治岳もよく見える



岩場を慎重に下る 13時46分



中岳と天狗ヶ城の鞍部はとても歩き易い



天狗ヶ城山頂直下 13時56分



左手は湖面がキラキラ光る御池と久住山



天狗ヶ城を上りながら中岳を見ると・・・



中岳山頂は団体さんで渋滞中！ 14時01分



15、天狗ヶ城 14時02分 1780m



これで本日7座目の登頂！



転げ落ちるように天狗ヶ城を下山 14時15分 池の小屋や慰霊碑が確認できる



天狗ヶ城を下って行くと、右下の空池(からいけ)が目に入る 14時18分

左の標高が高い御池(みいけ)には水が溜まるが、右下の空池(からいけ)には水が溜まることはない。どちらも噴火口跡だが、地質の違いなのだろうか？ 不思議だ。



天狗ヶ城を下り終え、久住別れを目指す！



右に三俣山を見ながら歩く 14時41分



左手には秀麗な久住山



16、久住分れを通過 14時43分 強風



くじゅう避難小屋の広場に到着 14時45分 星生崎が凛々しく聳え立つ
 ここから8座目となる星生山はパス。のんびり西千里ヶ浜を歩くことにした。



お待たせしました。遅れてごめ～ん。



休憩せずに通過 14時46分



星生崎直下のガレ場越え 14時50分



17、西千里ヶ浜 14時56分



西千里ヶ浜で振り返ると、星生崎と久住山 14時58分 久住山の見納めとなる



18、扇ヶ鼻分岐 15時13分



淡々と足を運んで下山



秋の七草、ススキの中を歩く 15時41分



19、沓掛山 山頂はパス



沓掛山の肩に到着 15時58分

東屋を通過 16時06分



三俣山の紅葉も気になりながら・・・でも今年は期待薄かも？



20、牧ノ戸登山口 16時13分

コンクリート道を下って無事にゴール。

ヤッター！

本日の所要時間は10時間14分。スマホの歩数計は31076歩だった。

秋晴れのくじゅう連山、楽しい一日でした。同行のM原君とM利君に感謝。お疲れ様でした！

下山後、温泉へ直行。帰路はまた四季彩ロードを快走。すると早朝見かけた馬3頭を発見！

牧場に馬が三頭 🐎🐎🐎 !(^~)! 無事でよかった～。